

温暖化防止ながれやま便り

第44号 2022年6月

NPO 温暖化防止ながれやま
代表 増永 弘
流山市西平井 2-16-7
編集 石垣 幸子

地球温暖化防止活動を行政・市民とともに推進する

新代表 増永 弘



温暖化防止ながれやまの新年度の活動をスタートさせたところで、急遽その任に当たれと命じられた増永です。責任の重大さを痛感しています。

かけがえのない地球環

境を守るために「千葉県地球温暖化防止活動推進センター」との連携のもと、市民の領域について市民が中心となり、市民・団体・企業・行政等とのパートナーシップで、地球温暖化防止活動を推進するとの理念と目的を掲げて活動を継続してきました結果、平成25年12月、環境大臣賞を受賞しました。この受賞は、平成10年から地球温暖化防止に顕著な功績があった個人・団体に対し、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動が評価されました。

さらに今回、「脱炭素チャレンジカップ2020」において、私たちの地球温暖化防止活動推進のための取り組みが認められ、「奨励賞」を受賞しました。「脱炭素チャレンジカップ」は、次世代に向けて、低炭素な社会を構築する地球温暖化に関する地域活動を報告し、連携の輪を広げる「場」を提供し、地球温暖化防止活動を推進する団体であると認められたものと感謝しています。

地球温暖化への対策を求められるのは、政府や企業だけではありません。家庭(市民)から排出される

二酸化炭素も決して小さいものではないからです。暮らしで使うエネルギーを太陽光発電等の身近な自然エネルギーに切り替える。あるいは一人ひとりでできる小さな省エネの工夫も、地球温暖化の防止に役立ちます。家庭から排出される二酸化炭素の量や自動車の利用を減らすことで、家庭から排出される二酸化炭素のほとんどは、電力、ガス、ガソリンの消費からできています。そのため電気の使用量や自動車の利用を減らすことで、家庭から排出される二酸化炭素の量を大きく減らすことができます。

これらの推進活動は「持続可能な開発目標(SDGs)」と合致するところがあり、我々の方針を推し進めることはSDGsの推進に寄与することにもなります。

今年は創立20周年の記念すべき年、会員及び関係者の皆様と一緒に温暖化防止活動・推進の更なる努力を傾注できればと願っています。



2022年度の活動計画

令和4年4月28日、生涯学習センターに於いて、「温暖化防止ながれやま」の総会が開催され、2022年度の活動計画が決定。

2022年度 活動計画

1. 市民環境講座を開催します。

第1回 6月25日(土)

生涯学習センター 多目的ホール

「ソーラーカー組み立て工作」

第2回 8月7日(日)

生涯学習センター 多目的ホール

「LED ランタン工作」

第3回 12月11日(日)

南流山センター ホール

「未来ワークショップ」

千葉大学 倉坂先生

第4回 2023年2月12日(日)

文化会館 ホール

「エコパフォーマンスショー」

らんま先生

2. 出前講座を開催します。

3. 暮らしのSDGs学習会を開催します。

これまでの省エネ学習会を範囲を広げて学習します。誰でも参加できる学習会です。

毎月第2金曜日に開催します。

4. 地球温暖化に関わる普及事業を実施します。

① 脱炭素プロジェクト

② 可燃ごみ減量プロジェクト

5. 「温暖化防止ながれやま」

創立20周年祝賀会

日時 11月5日(土)

会場 スターツおおたかの森 リハーサル室

・ 記念植樹

・ 式典

・ 記念誌

昨年度の活動報告

【市民環境講座】

第1回

7月17日(土)

「ソーラーカー工作」(太陽エネルギー実感)



第2回

8月8日(日)

「LED ランタン工作」



第3回

12月5日(日)

映画「アマゾン大冒険」



第4回

2月6日(日) らんま先生の

「エコパフォーマンス」



【省エネルギー学習会】

165回～176回(毎月)

1月8日(174回) 新春ビッグ対談を開催

2022年度 第1回市民環境講座

ソーラーカー工作教室

太陽光を実感しよう

2,3日前の梅雨空とは打って変わり、朝から太陽の光が燦さんの6月25日(土)生涯学習センターに於いて、18組の親子を迎えてソーラーカー工作教室が開催された。



家から持参したペットボトルにニッパーやドライバーなどを使ってモーターや車輪を取り付ける。このソーラーカーのモーターを回すのは、乾電池でもなく、輪ゴムでもない。太陽の光をエネルギーにするパネルである。その小さなソーラーパネルをペットボトルの上に取り付けて完成。

出来上がったソーラーカーを持って屋上へと急行。いよいよ試験走行！子供たちは太陽の光いっぱいので屋上で、歓声を上げて、愛車の走りを確認していた。「あれ！止まっちゃった」「自分の影に入ったからだよ」改めて、子供たちは、太陽エネルギーの力を実感した一日であった。



教室に戻って、増永代表によるミニ講座、「スマートライフのおすすめ、省エネ、創エネ、蓄エネをうまく組み合わせ、エネルギーを無駄なく効率的に利用しよう」との講演を行った。

第177回「暮らしのSDGs学習会」

化石エネルギーの急騰に備える

家庭の実践的暮らし方

講師 平手 彰

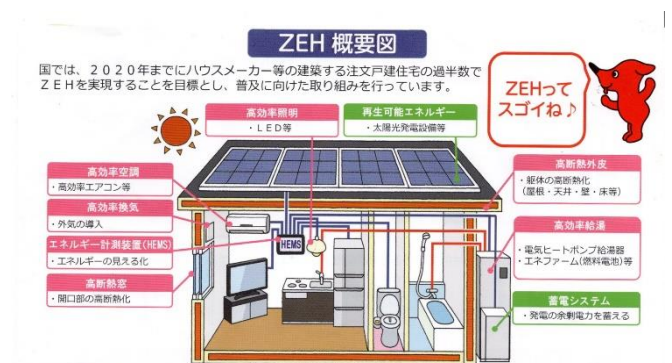
今年度より、「SDGs学習会」と改称して、4月1日、生涯学習センターにて、「化石エネルギーの急騰に備える家庭の実践的暮らし方」の講演が行われた。

3月16日東日本大震災の再来かと思われるほどの地震があり、福島の火力発電所が止まった。

3月21日夜、政府は東京電力管内の電力需要が厳しくなるとして、「電力需要逼迫警報」を初めて出した。福島の火力発電所の停止や、悪天候で太陽光の発電量も低下するなど、家庭や企業に対し節電を呼び掛けた。

今、石油が高騰している。灯油もガスも上がっている。ガスも化石燃料である。そしてガスは節電できない。お風呂、ガスをやめる。ガスをエコキュートにするなど、エネルギーを家でコントロール、他のものに変える。小麦が上がっている。平手家は、パンが高い、おにぎりに変えた。地産地消を考え、生活態度を変えよう。

エネルギーも同じ、石油がダメなら再生エネルギーを考えよう。



ZEH(ゼッチ)とは住宅の「高断熱化」と「高効率設備の導入」に加えて、再生可能エネルギーを活用することで、健康的で、快適な室内環境と大幅な省エネの実現。年間のエネルギー消費量をゼロ以下にする住宅(ゼロ・エネルギー・ハウス)です。

日本は2030年までに46%削減を目標に掲げた。あと、たった8年である。

電気予報の見方、新電力への切り替え、屋根発電+蓄電、そしてオール電化を進めるなど、考えよう。

第一目標 貧困をなくそう

環境管理士・環境アセスメント

平手 彰

SDGsは「誰一人取り残さない世界」を目指して、17の「持続可能な開発目標」をかかげています。

今回は第1目標、貧困をなくそう(NO POVERTY)を学習しました。

1) 貧乏と貧困の違い

貧困は貧乏と違い誰にでも突然やってくるものです。災害、失職、失業等で収入が突然なくなるという恐怖です。貧乏は生活の余裕のレベルで、ある程度克服できても貧困になれば自助努力では短期間の克服が難しく、日ごろの「予防対策」すなわち日ごろの備えが必要です。

昨年11月の学習会で年金(高齢)世代は2000万円の金融資産が必要で、そのためのポートフォリオ(資産分散)と投資の手法を学習しました。投資はリスクもありますがドル預金など分散化によりメリットが大きいと言えます。

2) デジタル社会とアナログ社会

パソコン(インターネット)やスマホ(携帯電話+パソコン機能)が使いこなせる人はデジタル社会についていくことが可能ですが、ほとんどの高齢者は窓口対応文書、電話対応がないと、なんらかの手続きができないアナログ社会に生きています。

とどのつまりはマイナンバーに連携する官公庁のデジタル化に取り残されて一生を不自由、情報レスで終わることになるかもしれません。

3) サバイバルとサスティナブルな暮らし方

パソコンが小学生でも使えるようになってやたらカタカナ(外来語)が増え、孫とはまともな日本語会話?もできない時代ですが、取り残されないために(生き残るため=サバイバル)持続可能な(=サスティナブル)ライフスタイルへの切り替えが必要になっています。これ

により人生100年は現実となりました。

4) 暮らしで実践できる事例

省エネも脱炭素も知識だけでは何も変わりません。暮らしの中で実践してこそ社会全体で成果が発揮します。今回学んだ「貧困をなくそう」=貧困を予防しよう=手元のお金を働かそう=タンス預金(普通預金)を引き出してインターネットバンキングで運用...我が家の実践事例です。6か月の成果(為替益)で省エネ改築後13年のトイレ2か所をTOTO最新型省エネトイレ(15年保証)にリフォームできました。ちなみに「新しい資本主義」は2000万タンス預金の投資推奨だそうです。

スマートライフのおすすめ

エネルギー管理士

増永 弘

温暖化が進む地球のために、私たちができる事、それはスマートライフです。



訃報

弊社事務局長の春田育男氏が令和4年3月彼岸へと旅立ちました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。